



近年「秋が短くなってきた」と言われますが、そもそも「秋」とは、いつからいつまででしょうか？様々な定義によると、社会通念あるいは気象学では9月・10月・11月、年度内での区切りでは10月・11月・12月、二十四節気に基づく節切りでは立秋（今年は8月7日）から立冬の前日（今年は11月6日）まで、と捉え方はいろいろあります。いずれにしても過ごしやすい季節になりました。「〇〇の秋」、みなさんにとっての「〇〇」は何か？ いろんなことをあてはめて、実行してみましよう！

今月の礼拝

単元24:初代教会③

…お話 …奏楽

月日	週 題	聖書箇所	ティーンズ礼拝 (小4～中高生) 9:00～9:30	プレイ・タイム (小学生／中高生) 9:35～9:55	こどもれいはい (幼児～小3) 10:00～10:20
11月2日	フィリピでの伝道	使徒言行録 15:36-16:40	📖 武岡 基 🎵 武岡路実	クリスマスに向けて (アドベントカレンダー)	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ
11月9日	ベレアでの伝道	使徒言行録 17:1-15	📖 安達正樹牧師 🎵 安達いづみ	クリスマスに向けて (アドベントカレンダー)	📖 安達正樹牧師 🎵 安達いづみ
11月16日 子ども祝福式	エフェソでの伝道	使徒言行録 19:8-20	📖 草地妙子 🎵 安達いづみ	クリスマスに向けて (アドベントカレンダー)	📖 武岡 基 🎵 安達いづみ
11月23日 収穫感謝日	ローマへの旅	使徒言行録 27-28 章	📖 武岡路実 🎵 安達いづみ	クリスマスに向けて (クリスマス飾り作り)	📖 安達いづみ 🎵 武岡路実

単元25:救い主イエス

11月30日 アドベント	神の約束	イザヤ書 9:1-7 ミカ書 5:2	📖 中根一茂 🎵 武岡路実	クリスマスに向けて (クリスマス飾り作り)	📖 中根一茂 🎵 武岡路実
-----------------	------	-----------------------	------------------	--------------------------	------------------

※聖書箇所やお話の内容・担当者は、変更することがあります。

子ども祝福式 11月16日（日）10:15～（こどもれいはい後、大人の礼拝前の時間に行います）

大人の礼拝の前に「子ども祝福式」を守ります。これは、教会に集う子どもたちの健康やかな成長を教会員全体で祈ると共に、子どもたちが神さまからの祝福を受ける式です。いつもの朝の礼拝もありますが、引き続いて「子ども祝福式」へも出席してください。



収穫感謝礼拝 11月23日（日）

いつもどおりのティーンズ礼拝・こどもれいはいで
野菜や果物を持ち寄り、神さまからの恵みに感謝します。

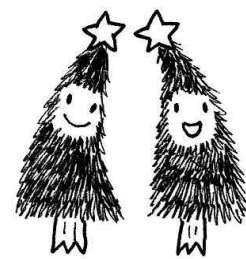
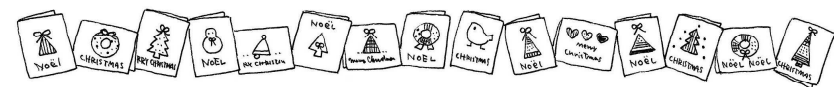


アドベント・クリスマス電飾「点灯式」 11月30日（日）16:30～

イエス=キリストの誕生（クリスマス）を待ち望む期間を「アドベント（待降節）」といいます。教会の暦では今年は11月30日（日）からアドベントに入ります。
今年もこの日に礼拝堂前のスロープとツリーに施されたクリスマス電飾の「点灯式」を行います。賛美とお祈りを共にし、クリスマスを待ち望む期間を一緒にお祝いしましょう。

CSクリスマス礼拝・祝会 12月14日（日）13:30～15:00 〈詳細は次月号にて〉

金城学院高等学校キャラバン隊のみなさんによる人形劇が今年もやって来ます♪
これまで教会に来たことのないお友だちも誘って参加してもらってもいいですよ。
人形劇は小さい子向けであることはお友だちに伝えておいてね。



今月の聖句

ですから、皆さん、^{みな}元^{げん}氣^きを出しなさい。わたしは^だ神^{かみ}を信じています。
^つわたしに告げられたことは、^{しん}そのとおりになります。

（使徒言行録 27:25）

今月のさんびか♪

こどもさんびか 1 3 1（かなしいことがあっても）

そろそろクリスマスの装いがお店のディスプレイやテレビのCMなどでも見られるようになってきましたね。クリスマスの場面では天使が羊飼いにこう告げています。『天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。」（ルカ2:10-11）』と。イエスさまは「救い主」として「民全体」つまり私たちのためにもこの世にお生まれになったのです。「私のため？」…そう思うかもしれませんが、私たち一人ひとりのためなのです。地理的空間も時間的空間も越えて、今の私たち一人ひとりのためなのです。

では、“私”にとってイエスさまとはどんな関わりがあるのでしょうか。そのことをわかりやすく表しているのが、今月のさんびか1 3 1「かなしいことがあっても」です。この賛美歌は、生地善人（おんじ よしと／1960- ）さんによって、1992年に教会学校を卒業する生徒のために作詞・作曲されました。生地さんは、大阪生まれで、同志社大学大学院を修了後、牧師となられ、日本基督教団大森めぐみ教会、渋川教会、名寄教会、筑波学園教会を歴任し、現在は群馬県高崎市の高崎教会で牧師をされています。中学生の時にエレキギターと出会い、ロックの世界にのめり込んでいきました。同じロックでもビートルズのように常に新しい音楽性を志向していくものよりも、ローリング・ストーンズやザ・バンド、憂歌団のように、ブルースの基本をベースにしたものに熱中しました。1992年の3月、当時渋川教会の教会学校では、中学を卒業する生徒に賛美歌集をプレゼントしていました。それは「次週からは教会学校ではなく、主日礼拝に来てください」という意味合いと、「これから社会に出て行く中で、きっと賛美歌があなたの側であなたを慰め支えてくれますよ」という2つの意味合いがありました。しかし渋川教会の牧師だった彼は、賛美歌集だけでは何かが足りない、もっと生きたプレゼントをしてやりたい、と前の晩に悩みながら、この「かなしいことがあっても」を作り上げました。そして、これが私にできる卒業生への生きたはなむけの歌だよ、と卒業する生徒たちの前でギターを演奏しながら歌ったのでした。この賛美歌のコード進行はは典型的なブルース調で、前半が終わると、後半の“サビ”に入ります。これはラグタイムとよばれる、19世紀末から20世紀初頭にアメリカを中心に流行した音楽ジャンルの影響を強く受けています。ラグタイムはアフロ・アメリカンのミュージシャンが演奏していた楽曲がもととも言われ、拍子の最後の拍から歌い出し、小節をまたぐ「シンコペーション」が特徴です。この賛美歌では、全体が3拍子であることが、この曲の個性として際立っています。歌詞は作者が牧師として、「人生は前途多難かもしれない、でもイエスさまがいつもきみの横に寄り添ってくださって、守ってくださるだろう」という子どもたちに向けた祈りそのものとなっています。私たちにとってもこの歌詞を心に留めて信じ、つい口ずさんでしまう賛美歌の一つにしたいものです。



がたんじょうびおめでとう🍰

11月生まれのお友だち

堀部あいりさん 2日